



協会報

2024

発行日 毎月1日 通算発行 463号

11



今月のトピックス

令和6年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催

令和6年奥能登豪雨における被災地支援

ボランティア活動

災害復興の足音



《石川の工芸シリーズ⑦》

石川県立美術館蔵

くたにあかえ ふたもの かぜかお
九谷赤絵蓋物「風薫る」

ふくしま ぶざん
福島 武山【昭和19(1944)年一】

制作年/平成29(2017)年 サイズ/径25.0×高さ15.5cm

本作は福島武山独自の「赤絵細描」を基本としつつも、作品の一部に色絵を用いることで、濃密な赤絵がより際立つ表現となっていて、これは近年の作風の特徴といえる。蓋と身に繊細な赤絵が流れるように施され、洗練された躍動感のあるデザインとなっている。作家の技術がさらなる境地に至ったことが感じられる。

(石川県立美術館HPより引用)

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号

TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 11



《石川の工芸シリーズ⑩》
くになか えふたもの かぜかお
九谷赤絵蓋物「風薫る」
福島 武山(ふくしま おざん)

1 今月のトピックス

- 令和6年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催 2
令和6年奥能登豪雨における被災地支援ボランティア活動 4

2 災害復興の足音

3 石川県土木部だより

- GPSを活用した除雪管理システムの導入
石川県土木部道路整備課

4 入職後フォローアップ研修の開催

- 東日本建設業保証株式会社

5 2024年度第2回 建設業景況調査(石川県版)

- 東日本建設業保証(株) 石川支店

6 今月の「輝き!」さん No.115

- ほそ川建設株式会社 もりかわ かえで 森川 楓さん

7 協会だより

- 常任理事会の開催 11
建設青年委員会
「いしかわのこどもみらいキャンペーン『はだしの王国』」に参加 12
土地改良委員会
研修会の開催(建設環境部会) 14
建設人材確保特別委員会
専門学校・大学生を対象とした現場見学会の開催 14
建設技術研修所
建設業経理事務士特別研修(3級)の開催 15

8 石川県土木施工管理技士会だより

- JCMセミナーの開催 15

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- > ホーム
- > 協会案内
- > お知らせ
- > 講習会・研修会
- > 協会報
- > 指名競争入札参加
- > お問い合わせ

“未来”を創り
“ふる里”を守る
建設産業



イメージアップ工事着飾
未来への画「石川をつくる」

今月の
「輝き!」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険



こちらで地区協会等の
情報発信をしております。
ぜひご覧ください。



ホームページをご覧ください

今月のトピックス

令和6年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催

開催日時 令和6年10月29日(火) 14:30~17:00

開催会場 ホテルオークラ新潟(新潟県新潟市)

県協会出席者 鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事

概要

令和6年度北陸地区建設業協会地域懇談会が、国土交通省、(一社)全国建設業協会、新潟・富山・石川の各県及び長野県(オブザーバー)の建設業協会役員計50名が出席しました。

開催県の(一社)新潟県建設業協会福田勝之会長から「今年は、石川県で能登半島地震、さらに奥能登豪雨に伴う甚大な被害が発生した。本日は災害対応に関する話が出てくるであろうが、国土強靱化を含む公共事業の推進や、働き方改革といった、懇談会テーマに沿った、活発な意見交換となることを期待する。」と挨拶があった。

続いて、当県鶴山会長が、「能登半島地震、さらには奥能登豪雨に伴う甚大な被害を受けた被災地へ、各界から迅速な対応で支援が寄せられたことに感謝申し上げるとともに、復興へは長い時間となるが、心をしっかりと取り組んでまいりたい。」と挨拶した。その後、

国土交通省大臣官房審議官(不動産・建設経済) 堤 洋介 氏

国土交通省大臣官房技術審議官 沓掛敏夫 氏

国土交通省北陸地方整備局長 高松 諭 氏

(一社)全国建設業協会会長 今井雅則 氏

が挨拶されました。



新潟県 福田会長挨拶



鶴山会長挨拶



堤 洋介氏挨拶



沓掛敏夫氏挨拶



高松 諭氏挨拶



全国建設業協会 今井会長挨拶

議事に入り、(一社)全国建設業協会山崎篤男専務理事の司会で、地域懇談会テーマについて意見交換が行われました。テーマ及び当協会からの発言は以下のとおりです。

- 1 公共事業（国土強靱化を含む）の推進
（鶴山会長発言）
- 2 改正労働基準法と働き方改革、生産性向上
（小中出副会長発言）
- 3 第3次担い手3法（建設業法、品確法）の改正と賃上げ、価格転嫁
（真柄副会長発言）
- 4 CCUS、外国人労働者等、災害対応、広報その他
（中市副会長発言）

地域懇談会テーマの意見交換後、北陸3県建設業協会からの提案議題について意見交換を行いました。各県の提案議題は以下のとおり。

- 1 石川県建設業協会
 - ①建設人材確保のための環境整備
 - ②地域建設業が「地域の守り手」として災害対応できる体制の強化
- 2 新潟県建設業協会
 - ①地域建設業が社会的使命を果たしていくために、事業量が中長期的に見通せる公共事業予算について
 - ②完全週休二日の普及について
 - ③除雪オペレーター確保による持続的な除雪体制の確保について
- 3 富山県建設業協会
 - ①担い手3法の適切な運用と適正な利潤確保について
 - ②働き方改革の推進について



地域懇談会の状況



石川県協会



全国建設業協会

令和6年奥能登豪雨における被災地支援ボランティア活動

石川県建設業協会防災・安全対策特別委員会（澤田 剛委員長）は、能登半島地震に続き奥能登豪雨で再び甚大な被害を受けた当県輪島市南志見地区において、被災地支援ボランティア活動を行いました。

10月16日（水）及び17日（木）の2日間、金沢・白山野々市・小松能美・加賀の各地区会員企業20社40名が、家屋からの土砂除去や物品搬出等を行いました。

大宮 正輪島市議会副議長他から「地震後に続き、今回も遠方からお越しいただき本当にありがとうございます。」等の謝辞をいただきました。



災害復興の足音

珠洲市内に現場従事者向けの宿泊拠点を整備中

本年発生 of 能登半島地震災害及び奥能登豪雨災害において、石川県建設業協会では会員企業が一丸となり、道路啓開や流木除去等の復旧・復興に取り組んでいます。



- 鳳輪・珠洲地区以外の県内各地区の会員が現地に出動していますが、移動には相当の時間を要することから、輪島市の「のと里山空港仮設宿泊所」、珠洲市の「鉢ヶ崎オートキャンプ場トレーラーハウス」等を拠点に活動しています。



のと里山空港仮設宿泊所



鉢ヶ崎オートキャンプ場トレーラーハウス

- 当協会及び珠洲建設業協会では、災害復旧・復興の迅速化に向け、珠洲市内に現場従事者向けの宿泊拠点を整備中です。珠洲市上戸町の休耕田（約2,800㎡）を借用し、木造平屋建ての完全個室型96戸（96人分）を来年1月までに建設予定です。第1期工事では、11月中旬には48戸（48人分）が完成する予定です。



石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！ がんばろう石川！

石川県土木部だより

GPSを活用した除雪管理システムの導入

石川県土木部道路整備課

1 はじめに

石川県では、冬期間において、物資の輸送及び通勤・通学等の県民生活に支障をきたさないよう、11月1日から3月31日まで、地域の建設業の方々と共に、県管理道路の約2,200kmにおいて道路除雪を実施することとしています。

道路除雪はほとんどが深夜から明け方の作業となり、ひとたび大雪となれば、休日や昼夜を問わず行われるなど、従事される建設業の方々においては大変な業務となります。

しかし、道路除雪を行う除雪オペレータのうち、50歳以上の方の割合が半数を超え、今後の除雪オペレータの高齢化や担い手不足が懸念されることに加え、労働基準法の改正により、今年4月から建設業においても時間外労働の上限が規定されたことなどを受け、更なる業務の効率化による除雪オペレータの事務負担軽減が課題となっています。

このため、新技術による除雪業者への支援として、今年度よりGPSを活用した除雪管理システムの運用を開始しました。



写真-1 道路除雪の状況

2 事業の効果

(1) 業務の効率化

本システムは、GPS端末を除雪車に設置し、除雪車の位置情報や除雪作業の開始・終了時刻を自動取得するものであり、これまでは、除雪オペレータが除雪作業後速やかに、除雪延長や作業時間などを記入した報告書を手動で作成後、県へ提出していましたが、システムの導入により報告書の作成が自動化されるため、除雪業者の事務負担が軽減されます。

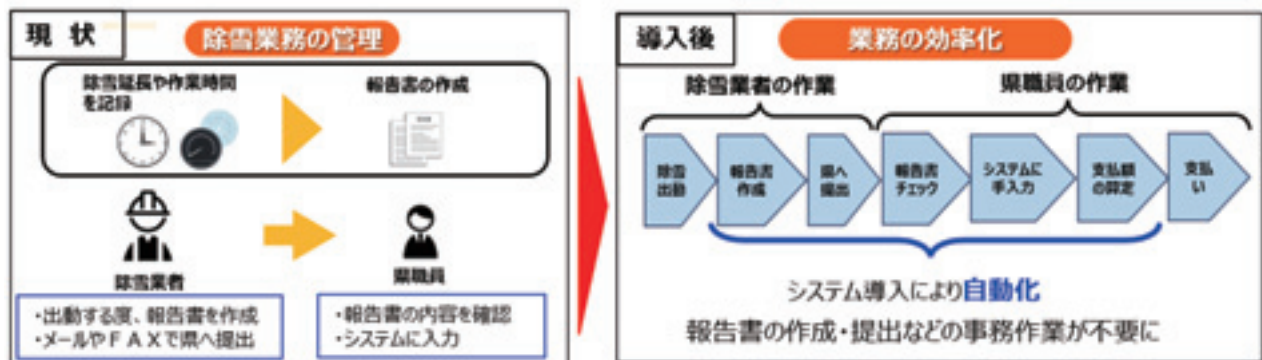


図-1 業務の効率化イメージ

(2) 除雪状況の見える化

これまで、除雪状況の確認については、除雪オペレータへの聞き取りでしか把握できませんでしたが、システムの導入により、GPS 端末から取得した位置情報が地図上に表示され、除雪状況の「見える化」によるリアルタイムな把握が可能となります。

これにより、県のホームページにおいて、冬期間の道路画像や積雪・気温の情報、通行規制情報に加え、今冬から新たに除雪状況を一般公開することで、県民の皆様への速やかな情報提供につなげます。



図-2 除雪状況の公開イメージ

3 おわりに

道路除雪は社会・経済活動に与える影響が非常に大きく、常に良好な冬期の交通確保が求められています。このため、県ではオペレータ研修会を開催し、若手オペレータの運転操作技術の向上を図るなど、引き続き、将来にわたり安定した除雪体制を維持するための取り組みを行ってまいります。

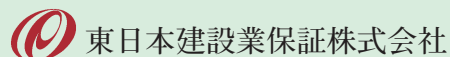
また、建設業の方々におかれましては、元日の能登半島地震及び9月の奥能登豪雨の発災直後から、県内各地からの応援もいただきながら、昼夜を問わない道路の復旧作業にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。冬期を迎えるにあたり、能登地域に



写真-2 オペレータ研修会の様子

においても円滑な除雪作業を行うことができるよう、道路の幅員が狭い箇所への小型除雪機械の導入や、段差などに除雪車が近づくと、自動的に音声でオペレータに注意喚起を促す「音声ガイダンスシステム」の重点的な配備といった支援を行っています。能登地域を中心に、未だ災害の爪痕が残る状況ではありますが、今後も安全で安心な冬期の交通確保に向け、引き続きご協力をお願い申し上げます。

入職後フォローアップ研修の開催



開催日時：令和6年9月18日(水)

10:00～16:00

開催場所：石川県建設総合センター

参加者：石川県、富山県、福井県

3県の建設業協会の会員

講師：富士教育訓練センター

花輪孝樹講師



入職後フォローアップ研修とは

弊社では、今年度から建設業界への貢献策として、担い手確保・育成を目的とした標記研修を無償で提供しております。

この研修では、入社3年目程度の社員を対象に、良い指導者になるための基本および条件を学び、同年代同士が建設業に従事するものとして抱える問題や解決策等の意見交換を行い、連帯感を養います。

研修当日の様子

当日は50名が受講し、花輪孝樹講師は今回の研修を①聞き上手の訓練②自分を見つめ直してさらにスキルアップする訓練③メモを取る訓練④相手の良いところを学び取る訓練⑤限られた時間を効率よく使う訓練—であると明確に位置付け研修を進めました。

午前は『良いリーダーになるために』をテーマに信頼されるリーダーの条件7項目、人使いの10ヶ条などの解説を受けました。

午後は『人前力を鍛える』をテーマにグループに分かれ、「どんな先輩になりたいか」など、与えられたさまざまなテーマについてディスカッションを行い、活発な意見交換が行われました。

募集のご案内

来年度も開催を予定しております。これからリーダーとしてお仕事をされる方、同年代との交流を持ちたいという方はぜひご参加ください。

石川県建設業協会を通じて会員企業からの募集を行うこととしております。

お問い合わせ先

東日本建設業保証株式会社 総務部 担当：佐野、水野

TEL 03-3552-7520 Fax 03-3552-7535

2024年度第2回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証（株）石川支店

<概要>

○収益は、「増加」傾向に転じている。 来期は、「減少」傾向に転じる見通し。
○民間工事は、「増加」傾向に転じている。 来期は、「減少」傾向に転じる見通し。
○資材の調達は、「困難」傾向が強まっている。 来期は、「困難」傾向がやや弱まる見通し。

【今期：前期（2024年4～6月）に比べた今期（2024年7～9月）の状況】

【来期：今期（2024年7～9月）に比べた来期（2024年10～12月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気※	5.5	⇒	5.5	⇩	4.0
(2)受注	受注総額※	0.5	⇨	5.0	⇩	▲2.0
	官公庁工事※	3.0	⇩	2.5	⇩	▲2.5
	民間工事※	▲1.0	⇨	3.0	⇩	▲7.0
(3)資材	資材の調達※	▲10.0	⇩	▲15.0	⇨	▲12.5
	資材の価格	31.5	⇩	30.5	⇩	29.0
(4)労務	建設労働者の確保※	▲23.5	⇨	▲21.0	⇩	▲21.5
	建設労働者の賃金	22.5	⇨	26.0	⇩	20.0
(5)収益	※	▲7.0	⇨	0.5	⇩	▲7.5

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{\text{※「変わらず」は除いて計算}}$$

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL: 076-242-1231

今月の「輝き！」さん

No. 115



ほそ川建設株式会社 もりかわ 森川 かえで 楓さん

所属：公共・開発工事事務

経験年数：4年

年齢：25歳

金沢市示野町の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

弊社は、昭和54年創業、「ひとの幸せを創り、美しいまちをつくる」をビジョンに、木造注文住宅をはじめ、公共施設の建築や伝統的建築物の補修工事等を手掛ける建設会社です。

—建設業を選んだ理由、入社した動機等について教えてください。

県内大学を中退したあと、家庭用太陽光パネルの設置職人として1年半勤めました。作業中に屋根で足を滑らせたことがあり、幸い怪我はなかったのですが転職を考え、転職アプリ等で探した派遣会社に勤めました。派遣先で入った「ほそ川建設の現場」で社長さんに誘われ、入社させていただきました。

—実際に建設業界に入っていかがでしたか。

高校・大学とも工業系ではありませんでしたが、もともと体を動かすのが好きで、現場監督の仕事に興味を持って転職したので、やりがいを感じながら毎日過ごしています。どんな仕事にも苦労や大変なことはあるので、転職の際も俗に言う3K等のイメージは持っていないませんでした。皆さん優しく、色々教えて貰いながら良い雰囲気です。

—仕事での苦労やそのために努力していること、やりがい等がありますか？

今、金沢市内の公共施設の改修工事現場に入っていますが、初めてのJVであり、他社との連携や大規模な施工工程の遂行等、安全第一に日々頑張っています。私は、現場監督とは全作業員のお手本であり、皆が動きやすく作業しやすい環境を整える重要な仕事だと思っていますので、職人さんたちから色々学ばせて貰いながら取り組んでいます。仕事のやりがいは、工事が終了して施工主さんや関係者の方から「ありがとう」「すごく良くなった。」等の声をいただいた時、「この仕事は必ず誰かの役に立っている。」と実感できることです。

—思い出に残る現場はありますか？

初めての現場で、兼六園に隣接する茶店の店舗改修です。工期が長く、人通りも多く、様々な規制がありました。何より工事途中で地層の埋蔵物調査が入ったことで1か月余り工事が止まってしまいました。貴重な経験が積めた思い出の現場です。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

今の現場も週休二日工事で、しっかりと休めています。今年9月に長男が生まれたので一緒に過ごすのが楽しみです。父の影響もあって乗り始めたバイク（400cc）で友人と県外等へツーリングに出かけたりしています。

—将来の夢、目標は？

当面は「2級建築施工管理技士試験」の合格です。私の上司である公共・開発工事部長のように、皆に慕われ仕事のできる現場監督を目指しており、いつか大きくなった長男と自分が手掛けた建造物を見て回りたいと思っています。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

私自身、本当にやりがいのある仕事だと思っていますし、女性の方々も監督員等で頑張っている姿を見かけます。ぜひチャレンジしてください。

ほそ川建設で待っています！



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」

毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

今月放送

11月26日(火)

協会だより

常任理事会の開催

日時 令和6年10月7日(月) 12:40~14:00
会場 石川県建設総合センター
出席者 正副会長、常任理事、専務理事、各地区協会専務理事・事務局長、県協会事務局

概要

冒頭、鶴山庄市会長が「9月21日の奥能登豪雨に伴う災害では、輪島市、珠洲市などが被災した。お見舞い申し上げるとともに、今後、協会から災害ボランティアをお願いすることとなる。これからも、皆さんの協力をいただき、復旧・復興の支援に努めていきたい。」と挨拶しました。その後、下記議題について報告・協議を行いました。

また、当協会の能登半島地震災害対応について、10月5日、住生活月間功労者表彰の国土交通省住宅局長表彰を受賞したことが報告されました。

〈議題〉

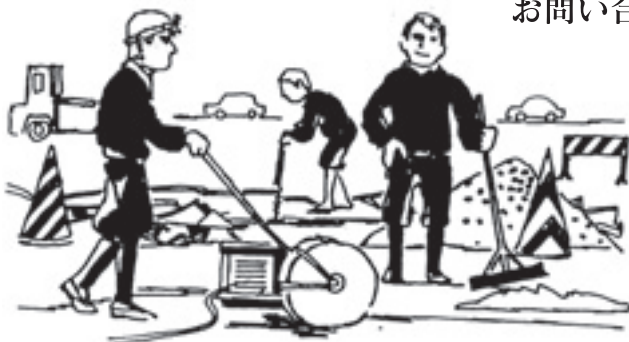
1. 今後の主な日程について
2. 建設工事受注高について
3. 各地区協会の活動について
4. 建設業をめぐる最近の話題について
5. 「目指せ！建設現場 土日一斉閉所ポスター」配付について
6. その他



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

建設青年委員会

◎「いしかわのこどもみらいキャンペーン『はだしの王国』」に参加

開催日時 令和6年10月14日(月・祝) 10:00～16:00

開催場所 奥卯辰山健民公園

参加者 明翫圭祐委員長、森高靖子女性部会長、他10名、石川県職員11名、(株)ホクエツ北陸14名、石川工業高等専門学校7名、事務局6名

来場者数 5,400名(主催者発表)

概要

「全国建設青年の日(全国建設青年会議の建設業をPRする日)」の活動として、石川県土木部との共同により、女性部会「百万石小町『結』」とともに「いしかわのこどもみらいキャンペーン『はだしの王国』」に参加しました。



屋外会場に「わくわく!土木土木(どきどき)!たいけん」と題した

- ①クイズで学ぼう ②重機で遊ぼう ③土木の体験

のコーナーを設け、土木に関するクイズや実験、重機試乗やミニ建機によるボールすくい体験等を行いました。

「重機で遊ぼう」では希望者が絶えず大好評で、「土木の体験」のコーナーでは、(株)ホクエツ北陸と石川高専の生徒が中心となり、子供達がコンクリートとシリコン製型枠を使ったキャラクターづくりを体験しました。



出展会場の様子

快晴のもと多くの子供達や家族連れが訪れ、クイズや重機・土木の体験を通して土木の魅力をアピールすることができ、建設業への理解を深めていただきました。



「重機で遊ぼう」のコーナー



「ミニショベルでのボールすくい」のコーナー



「ミニショベルでのボールすくい」のコーナー



「ホイールローダー試乗」のコーナー



「ホイールローダー試乗」のコーナー



アンケート回答に対する景品プレゼント



「クイズで学ぼう」のコーナー



「土木の体験」のコーナー

土地改良委員会

◎研修会の開催（建設環境部会）

開催日時 令和6年10月3日(木) 13:30～16:00
 令和6年10月29日(火) 13:30～16:00
 研修場所 コマツ栗津工場ICTデモセンター
 参加者 10月3日：会員等29名、事務局1名
 10月29日：会員等13名、事務局2名

概要

「建設業が取り組むSDGs～ICT建設機械の活用によるSDGsの取組と建設現場の安全対策について～」をテーマに研修会を開催しました。1回当たり上限30名のところ40名を上回る応募があり、2回に分けて実施しました。

始めにICTデモセンターにおいて、担当者からのプレゼンテーション聴講、ICT建設機械のデモンストレーション見学を行いました。コマツでは2015年から建設生産プロセス全体のあらゆるデータをICTで有機的につなぐことで、測量から検査まで現場のすべての「見える化」に取り組んでいます。その安全で生産性の高いスマートな「未来の現場」を創造するスマートコンストラクションの現在までの取組状況、将来の最終ゴールまでが説明されました。デモンストレーションでは、ICTブルドーザーによる自動ブレード制御等が実演されました。（写真1、2）

見学した組立工場では、中小型のブルドーザー等の4機種が製造されています。場内の床はフラットで配線や配管・空調設備が床下3mに収納されており、照明は天井部から採光し、照明器具が連動して調光されるなど省エネに配慮されています。また、工場内のクレーンが降下する際の位置エネルギーや検査場の走行試験のローラー回転をエネルギーとして有効活用されています。この他、社会貢献を目的としたCSR活動の一環として、県、加賀森林組合及びコマツの共同事業で行われている木質バイオマス発電施設を見学しました。

日頃、見ることでできない最先端の製造業のモノづくり現場を見る良い機会であるとともに、コマツの徹底した生産性向上や品質確保の取り組みに驚かされるなど、大変好評でした。



写真1 スマートコンストラクションの講義



写真2 ICTブルドーザーによるデモ

建設人材確保特別委員会

◎専門学校・大学生を対象とした現場見学会の開催

担い手確保の取り組みの一環として、県内の工業系専門学校および大学生を対象とした現場見学会を開催しました。現場での施工の様子や工夫、日々進歩している生産性向上に向けた取り組みを学ぶなど、大変貴重な体験となりました。受け入れにご協力いただきました方々に、改めて感謝を申し上げます。

○金沢科学技術大学校

10月3日(木)：建築学科34名
 見学先：いしかわ特別支援学校新校舎建設工事、
 金沢市南部共同調理場建設工事



金沢科学技術大学校

○金沢工業大学

10月18日(金)：工学部 環境土木工学科20名
 見学先：金沢東環堅田高架橋下部工事



金沢工業大学

建設技術研修所

◎建設業経理事務士特別研修（3級）の開催

開催日 令和6年10月30日(水)～11月1日(金) (3日間)
場所 石川県建設総合センター
講師 南武博会計事務所所長・税理士 南 武博氏
受講者 11名
主催 (一財)建設業振興基金



概要

(一財)建設業振興基金と共催し特別研修を開催しました。受講者は、建設工事の施工工程で発生する取引や、一般的な商取引に係る記帳処理上の問題点を解きながら、建設業の決算についての実務を踏まえた例題や、建設業で重要となる原価計算の基礎等を学びました。

石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナーの開催

開催日時 令和6年10月28日(月) 13:00～17:00
開催場所 石川県建設総合センター、(一社)七尾鹿島建設業協会、(一社)小松能美建設業協会
出席者 13名(金沢会場4名、七尾会場6名、小松会場3名)

概要

石川県土木施工管理技士会(会長 岡田康晴)は、オンライン形式でJCMセミナーを開催しました。「コンクリート工事で高評価を受けるための講座～コンクリート構造物の健康寿命を延ばすために～」をテーマに、近未来コンクリート研究会代表十河茂幸氏が講義を行いました。

良いコンクリート構造物を造る施工技術、ひび割れなどの不具合の抑制技術、維持管理のための点検・診断・延命化技術の説明等、受講者の知識向上につながる有意義な講習となりました。



金沢会場



七尾会場



小松会場



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。